

総合的な学習の時間の実践

富良野市

6年生の歴史学習へつなぐ

総合的な学習
5年

大昔にタイムスリップ

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

6年生の社会科の学習は、日本の歴史から始まります。その歴史学習も身近になっていく学習です。市内にある遺跡を発掘させ、子どもたちに、大昔、この地で人がどのように生活していたかということに興味をもたせます。そのために、縄文時代の土器作り、火起こしや野焼き、石器を使ったりどんぐりを食べたりする体験を関係機関と連携して進めていきました。

学習活動の流れ（30時間）

大昔の人はどんなくらしをしていたのだろう

「富良野の昔を調べよう」（1）

遺跡発掘体験をしよう（9）

- ・イメージマップ作り
- ・このかけらはなんだろう？
- ・遺跡発掘体験 ・発掘した物は何に使われる？

土器を作ってみよう（6）

- ・土器の作り方を調べよう
- ・生涯学習センターの方に協力してもらおう

野焼きをしよう（4）

- ・火を起こして、作った土器を野焼きしてみよう
- ・石器を使ってみよう

どんぐりを食べよう（7）

- ・調理法を調べよう ・どんぐりを採ろう
- ・食べてみよう

活動をまとめよう（8）

- ・これまでの活動をわかりやすくまとめる
- ・発表会

活動を振り返ろう（1）

体験を充実させるために「富良野市生涯学習センター学習プログラム」を活用しました。

市内にも遺跡があることを知らせ、実際に発掘することで関心を高めます。歴史にも目を向けます。

煮炊きもできる土器を野焼きで作りました。火起こしや石器体験は、6年生の歴史学習につながります。

子どもたちが大昔の富良野市にタイムスリップして学習に取り組みます。遺跡の発掘や土器作り、野焼きなどの体験を地域の関係職員の協力で行います。



みんなで土器作り

教材・活動の Point!



1. 遺跡発掘と聞いて、やる気いっぱい

縄文時代、富良野市に人が住んでいたかどうかの証拠となるものを探しに学校から5 km ほど離れたところにある「鳥沼遺跡」を発掘に行きます。「遺跡発掘」と聞いただけで、子どもたちの興味は最高潮に達します。その思いが、この単元を追究する出発点になります。

2. 土器作りと人材活用

遺跡発掘で教育機関の方と出会い、土器作りで実際に指導していただきました。単元を通してかかわっていただき、実際に指導していただくことで、より専門的な知識と技能に触れる機会をつくります。



3. 現代の生活とはかけ離れた、興味ある体験

自分たちで火を起こし、その火で、作った土器を野焼きしました。また土器が焼ける間、石器を使ってみることもしました。校庭にあるドングリを食べることもしました。便利な現代では、どれも貴重な体験です。

